

- ◆03.31 逆方向へHR。
- ◆03.30 「繋ぐ」と「決める」の使い分け。
- ◆03.29 コツを掴むように努力していれば必ずその日はやってくる。
- ◆03.28 投票日まであと少し。卒業生も言っていたが、責任のある投票をしよう。
- ◆03.27 自信満々と闘争心。
- ◆03.26 状況認識能力と人間観察能力。
- ◆03.25 走塁は瞬きひとつの攻防。だから難しい。でもホームランを打つよりは簡単。なぜなら24時間練習できるから。
- ◆03.24 もっとできる。
- ◆03.23 受験速報会があった。野球をやっているように勉強をしていた。
- ◆03.22 不覚にも風邪をひいてしまいました。やっぱり健康第一。
- ◆03.21 夏の開会式まであと109日。時間は有るようで無いし、無いようで有る。
- ◆03.20 「なるほど」「あ、そっか」言葉や場や心に気付く言葉。
- ◆03.19 三送会があった。確かな自分の言葉で自分とチームを立派に語った。三送会の新たな歴史を創設した。
- ◆03.18 この時期に全国レベルを感じ取ることが出来て良かった。夏に生かそう。
- ◆03.17 2本柱の充実。それに尽きる。
- ◆03.16 今日は卒業式。また歴史が積み重なった。
- ◆03.15 今日は中学校ユニフォームDAY。初心に帰っただろうか。
- ◆03.14 諦めれば終了なのは当たり前。
- ◆03.13 矜持と覚悟。
- ◆03.12 冬に得たキーワードは《声》と《流れ》。
- ◆03.11 選球眼は選球打眼。
- ◆03.10 文集《春到来》より「一人の練習、少人数でやる練習、全体でやる練習、それぞれに良さがある」
- ◆03.09 文集《春到来》より「正しい判断をするためには経験を積むことが重要」
- ◆03.08 文集《春到来》より「結果的に公式戦でベンチに入れるのは20人だけだ。たった20人しか入れないのだから、大事な自分の良さを発揮して、どれだけチームに貢献できるかだと思う。」
- ◆03.07 文集《春到来》より「チームの雰囲気が一番大切だと実感した。」
- ◆03.06 文集《春到来》より「WCの中で『声』が勝敗を大きく左右した気がする。『声』は目に見える闘争心でもあろうと思う。『声』には流れを変える力があると感じた。」
- ◆03.05 文集《春到来》より「流れを無意識的に強く感じとれ、その流れに応じた選手になる。」
- ◆03.04 文集《春到来》より「自分の弱さを自覚することができ、その改善に向けて自分自身と向き合うことができた冬でした。また、仲間の成長を肌で感じることができました。」
- ◆03.03 文集《春到来》より「自分のプレー一つで、勝敗を分けてしまうかもしれないという覚悟をもってプレーしなければならない。」
- ◆03.02 文集《春到来》より「ここからが大事で、夏に耐えられる人、誰からも必要とされる人になるために、努力を惜しまない。成長し続ける。」
- ◆03.01 文集《春到来》より「WCを通して蕨高野球部は全員本気で野球と向き合っているということも再確認できた。」

- ◆02.28 今日が練習最終日。WCの閉会式。チャンスボールも増やした。気持ちよくアウトオブシーズンの練習を終えよう。
- ◆02.27 WCが終わった。大会史上最大の逆転優勝であった。大会序盤、試合下手が原因で早くも脱落気味のDSMであったが、湧き立つ力で大逆転に繋げた。日々の練習も優勝チームに相応しい内容であった。各チーム、このWCを夏に生かそう。
- ◆02.26 WCも今日が最終節。DSMもCOもPPPも勝利に向けて全力を尽くそう。
- ◆02.25 投手も打者もタイミングが問題。
- ◆02.24 体はバランス良く鍛えるもの。
- ◆02.23 24時間の中で胃が休んでいる時間がなくて良いのだろうか？
- ◆02.22 あと一週間。春到来。
- ◆02.21 如何なる悪条件(気象条件だけではない)でも勝つ。酷暑の中、7(8)試合勝ち続けるということはそういうこと。
- ◆02.20 今日から高校入試の願書受付。一緒に船を漕ぐ仲間が増えるのも間近。
- ◆02.19 WCもあと3節。ここからは優勝だけを意識しよう。
- ◆02.18 確実に伸びている。だが他も伸びているはず。今の自分に満足せず器を大きくしよう。
- ◆02.17 今年のチームには伸びしろがある。もっと野球が上手くなるし、もっと試合も上手くなる。
- ◆02.16 自分が局面にかかわる、自分が勝敗を決めるという強い気持ち。
- ◆02.15 甲子園に出場して、自分たちの野球を思う存分表現して、校歌を歌う。そんなことをイメージしながら日々を過ごせば思いは叶う。
- ◆02.14 自分の体や技術の極々小さな成長を感じ取る敏感さが大切。
- ◆02.13 諦めずに工夫し努力すれば可能性がある。
- ◆02.12 野球の結果は勝ちか負け。どんなに好ゲームでも負けは負け。勝ちにこだわる練習にしよう。
- ◆02.11 四国は雪。でも熱い。
- ◆02.10 勝負師としての自分を磨こう。
- ◆02.09 チームの勝利に貢献するために自分を伸ばそう。
- ◆02.08 3年生。良い結果を出すために努力してきたはず。やっとその努力を表現できる舞台に上がることが出来る。自分の高校生活の主役として胸を張って臨もう。
- ◆02.07 WCも終盤であるがまだまだ優勝チームはわからない。目指そう優勝。意識しよう夏。
- ◆02.06 ホームラン以外のフライは全て捕る外野手。
- ◆02.05 140キロを打つティーバッティング。
- ◆02.04 初めての8人野球。何を感じ取るかが大切。
- ◆02.03 明日はどんなWCになるか楽しみです。
- ◆02.02 打つ＝振る×当てる。バットの芯を速く動かすこととバットの芯に正しく当てることを強く意識して打撃練習すべき。
- ◆02.01 個々の力はまだまだ上がる。3月には信じられないくらいの自分になれる。
- ◆01.31 3年生。力はつけてきたはず、あとは発揮するだけ。吉報を待っている。
- ◆01.30 昨日のWCで、今年の新しい試みの成果が出つつあると感じた。自分たちのやっていることに自信を持って先へ進もう。
- ◆01.29 アウトオブシーズンも前期(第1クール)、中期(第2クール)を終え、後期(第3クール)に入った。いよいよシーズンインも間近。春を意識して練習しよう。否、夏を意識して練習しよう。

- ◆01.28 呼吸法が始まった。今日は結構な手ごたえだった。
- ◆01.27 興味関心を持つこと、試してみようと思うこと。
- ◆01.26 インフルチームにならないように。
- ◆01.25 私たちも精進しよう。
- ◆01.24 今まで一部取り入れていた呼吸法をいよいよ全面的に実践するときが来た。
- ◆01.23 WCも予想通り接戦になってきた。みんなが力を発揮してくればもつれるはず。全体的にチームの流れが良くなっている。
- ◆01.22 蕨高生が式典や集会で校歌を歌うと、必ずあそこで歌いたい気持ちが溢れる。
- ◆01.21 野球だけが高校生活ではない。
- ◆01.20 何をやるかも、どうやるかも正しいような気がする。日々の自分に自信を持つ。
- ◆01.19 日に日に感じるが多くなっている。この時期にしては珍しい。
- ◆01.18 思いを共有できる仲間の存在はエネルギーになる。
- ◆01.17 何気ない瞬間に伝統を感じるが、伝統を受け継いでいる側にそんな意識はない。
- ◆01.16 24時間判断の連続。ちょっとした判断に大きな手応えを感じる時がある。
- ◆01.15 厳冬のこの時期、たった一人で朝練をやり続けた先輩がいた。自分の人生の立派な主役としての覚悟だった。猛暑の夏、この時期を思い出して胸を張れる今にしたい。
- ◆01.14 いよいよ始まる。体を緩め足の裏に意識を落として目の前のことだけにあたらう。
- ◆01.13 3年生、そして浪人生、人として大きく成長した自分を思いっきり表現する時がやってきた。楽しもう。
- ◆01.12 今年の冬は暖かい。とても練習しやすい。ただ朝はさすがに寒い。だからこそ朝練には意味がある。
- ◆01.11 目に見える世界の小さな成長は目に見えない世界の大きな成長の証し。
- ◆01.10 たまにしかやらないことよりいつもやること。
- ◆01.09 OBもマスターズ甲子園に向けて準備をしている。現役が先にあそこへ行こう。
- ◆01.08 投手は何を投げるかだけではダメ。その一球でどういう結果を出したいのかをイメージして投げる事が必要。
- ◆01.07 休み明け最初の週末のWCに公式戦並みの数多くの保護者の方にお越しいただき充実した一日となった。身が引き締まる思いがした。
- ◆01.06 自ら進み出てる正しい練習は嘘をつかない。
- ◆01.05 今日からWCが再開した。足を止めない野球が有効に見える。3年生はあと10日でセンター試験。まだまだ伸びようとするれば伸びる。ゲームセットはまだまだ先。
- ◆01.04 今年の練習も始まる。開会式まであと185日。
- ◆01.03 T大学で4年間硬式野球を全うしたFやS大学で陸上部に在籍し全日本大学駅伝に出場したKの存在は我々を勇気づけてくれた。お疲れ様でした。今後の活躍も確信しております。
- ◆01.02 投手は打者のタイミングを外すことが仕事。数えきれない工夫の仕方があるはず。
- ◆01.01 明けましておめでとうございます。今年も【監督の一言】を宜しく願いいたします。打者は投球を凝視してはいけない。
- ◆12.31 山あり谷ありは当たり前。一直線の右肩上がりはあり得ない。
- ◆12.30 星空を眺めていると宇宙の中の自分を意識することができ、緩んだ大きな気持ちになる。
- ◆12.29 年末年始は、自分を支えてくれている人たちと向き合うことが出来る時期である。
- ◆12.28 終わり良ければ全て良し。
- ◆12.27 WCの全ての場면을噛み砕き消化する。

- ◆12.26 昨日は3人の卒業生が来校した。午前はベスト16の主将、午後はベスト8の1塁コーチ兼伝令係とスタンドキャプテン。卒業生の成長した姿に接すると、この仕事をしていて良かったと心底思う。
- ◆12.25 ちょっとした準備の差が大きな結果の差になる。
- ◆12.24 中間考查②、進研模試の成績表彰を行った。文武両道。
- ◆12.23 24時間の全ての事柄が人の成長に関係する。
- ◆12.22 明日から冬休み。思う存分練習しよう。
- ◆12.21 グループ練習は、個々の意識の高さがとても大切。
- ◆12.20 粘れ。湧き立つ力で。
- ◆12.19 今年の練習もあと10日。甲子園を意識してもうひと伸びして今年を終えよう。
- ◆12.18 今日は小学生対象の野球講習会に行ってきた。やっぱり子供の頃、野球をやっていた頃の気持ちを忘れないようにしようと思った。
- ◆12.17 片時たりとも甲子園を意識しないことはない。信じている。
- ◆12.16 4日間、個性が出た練習だった。
- ◆12.15 今日はみんなで船を漕ぐ練習だった。結果ではない。
- ◆12.14 3年生。試合終了までまだまだ時間はある。自らの可能性を信じて最後まで粘ろう。
- ◆12.13 沖縄で一回り大きくなってもらいたい。蕨高校のグラウンドで一回り大きくなってもらいたい。今週はそんな願いがあります。
- ◆12.12 スピーディーな試合運びの一要素である【攻守交代】の速さは、積極的意識の身体表現である。「さあ守るぞ、さあ攻めるぞ。」
- ◆12.11 技術論と戦術論と戦略論と組織論は一体。ただそれらを支えているものは人。
- ◆12.10 選手は指導者を軽々と超えていてもらいたいし、そうでなければならない。勝つチームはそういうものである。
- ◆12.09 文集《春が来る前に》は自分の言葉で語っている文章が多く良かった。自分の言葉で自分の思いを語る事が大切。
- ◆12.08 WCが開幕した。試合の中でやらなければならないことが山ほどある。
- ◆12.07 文集《春が来る前に》より『手遅れでした。ごめんなさい。自分のせいです。』じゃ絶対ダメだと思います。終わってからの後悔がないように準備する。わかっている、なぜか後悔が生まれる。ということは、準備に終わりはないということだと思います。」
- ◆12.06 文集《春が来る前に》より『あいつならわかっている』と周りから言われるような選手になるために一步一步近づいていきたい。」
- ◆12.05 文集《春が来る前に》より「この冬で『人』を磨いて大きく成長しなければならない」
- ◆12.04 文集《春が来る前に》より「人はすべての人が全く同じということはないのだから、船を漕ぐためのオールは人それぞれ形や大きさが違うと思う。」
- ◆12.03 文集《春が来る前に》より「まだ蕾の段階である。この冬でいくつ花を咲かせることが出来るかワクワクしている。」
- ◆12.02 文集《春が来る前に》より「一つ一つを大きく変える必要がある。やりすぎるぐらいでいいから、とにかく大きく変わろう。汗をかかない練習だけでは甲子園に行けない。」
- ◆12.01 文集《春が来る前に》より「もっと自分らしさを追求したい」
- ◆11.30 文集《春が来る前に》より「公式戦で勝ち進んで甲子園の舞台に立つという目標に向かって、自分がいる意味と役割については、全員が考えてほしい」

- ◆11.29 差を縮めるのは今、この時期。
- ◆11.28 春が来る前に何をやるか？それをどうするか？
- ◆11.27 いろいろな人に支えられて野球部の活動をしているが、一番は家族の支えではないでしょうか。
- ◆11.26 今年最後の定期考査。部内順位1位、上昇順位1位を目指そう。
- ◆11.25 冬は大切。冬にしかできないことがある。
- ◆11.24 勉強、勉強、また勉強。3年生くらい勉強しよう。
- ◆11.23 今年最終戦が終わった。結果になっている成長もあるが、結果にはまだ繋がっていない成長もある。つまり、あと少しで成長する可能性がある。
- ◆11.22 前を向いて歩こう。
- ◆11.21 振れてきている。あとはタイミング。
- ◆11.20 1年生に告ぐ。自分らしい船の漕ぎ方をはやく見つけよう。
- ◆11.19 2年生に告ぐ。今年あと何日練習できるだろう。
- ◆11.18 3年生に告ぐ。勝敗はゲームセットの瞬間までわからない。
- ◆11.17 同じ練習をしてもそれぞれの練習。
- ◆11.16 あと一週間。9月とは違った自分を実感しよう。
- ◆11.15 自分と向き合わない人間はいない。ただ、向き合い方は人それぞれ。
- ◆11.14 秋の全国大会はどうだったろうか？やっぱり甲子園とは違うかな？
- ◆11.13 監督の一言も10か月目に入った。攻撃力＝打撃力×機動力。打撃力と機動力は螺旋状に向上していかなければならない。
- ◆11.12 今日は迫力ある打線との対戦で、テンポも良く楽しい1日だった。
- ◆11.11 冷静に興奮する。
- ◆11.10 優秀な投手になるための最低条件は、「投手がその手にした球を投じなければ野球は始まらない」と「投手一人の力だけでは決して勝利を手にはすることはできない。」ことを認識すること。
- ◆11.09 夏から急に秋をとばして、冬が来たような気がする。気のせいだろうか？
- ◆11.08 練習が休みの日の過ごし方にも個性が出る。最善の一日になってほしい。
- ◆11.07 FFCの対戦相手が決まった。1年生頑張れ。入学してから自分たちが中心のチームになるまでのちょうど中間にあるのがFFC。入学してから今までどのぐらい成長したのか、これからどんな準備をしなければいけないのか、そんなことを感じるべき大会が蕨高校にとってのFFCである。
- ◆11.06 RESPECTとJUSTICE。
- ◆11.05 色々なことがわかった。夏に生かそう。
- ◆11.04 今日は強歩大会だった。体育的行事はやっぱり大切。
- ◆11.03 自らの人生の主役たるべし。
- ◆11.02 これからますます寒くなるが、寒いと暑いとは悪条件という意味では同じ。夏は暑いし熱い。
- ◆11.01 後一月。川口強化大会もある。FFCもある。対外試合も後少し。夏をイメージして取り組もう。
- ◆10.31 じんわりきている。
- ◆10.30 エネルギーは体の中心から出す。
- ◆10.29 今年も川口強化大会がやってきた。何故か夏と連動している。この大会の内容を夏に生かした年は勝ち上がる。
- ◆10.28 野球はルールが無ければできない。大切なのはそんなに難しいルールではない。誰でも知っているルールが実はとても大切だと思う。

- ◆10.27 野球はタイミングが重要。力ではなく緩み。
- ◆10.26 子供の頃、純粹に野球を楽しんでいた気持ちを忘れないようにしよう。
- ◆10.25 ボールが飛んでくる所が守備位置だから、内野手は内野に飛んだ全ての打球をアウトにする。外野手は外野に飛んだ全てのフライをアウトにする。
- ◆10.24 現在は瞬時に過去になり、瞬時に新たな現在が到来する。
- ◆10.23 キャッチボールを一所懸命やらない選手は、暴投してはならない。
- ◆10.22 語ることは大切なこと。語らなければ行動で語る。
- ◆10.21 成長している。大人に近づいている。ような気がする。
- ◆10.20 開会式まで261日。まずは2年生。川口強化大会連続優勝しよう。
- ◆10.19 自分だけではない。みんなが自分の全てと向き合っている。
- ◆10.18 夏爆発するための今。常に夏をイメージし、過ごした時を重いものにする。
- ◆10.17 自分に今が存在することは、当たり前のことではない。
- ◆10.16 意図的行動の決断は覚悟と矜持による。
- ◆10.15 遠回りすることは無駄なことではない。遠回りしたことを気づいたということは、今が正しいということだから。
- ◆10.14 後一ヶ月。勝ち負け抜きにして色々試そう。
- ◆10.13 明日から練習再開です。初日は怪我に注意しよう。
- ◆10.12 OBの方々がマスターズ甲子園埼玉県大会に出場しました。現役と同じユニフォームで戦っていただき感謝申し上げます。我々は歴史の上に存在している。
- ◆10.11 夏の開会式まであと約九ヶ月。後悔するくらいなら準備をしよう。
- ◆10.10 試験前で練習は休みでも24時間練習です。
- ◆10.09 甲子園を意識して高校生活を送る素晴らしさとアドバンテージ。
- ◆10.08 今日は準決勝。あの2試合は何だったんだろう？というこの答えを今日の第1試合で感じ取りたい。
- ◆10.07 人間を科学している男の一言「勉強することで今まで見えなかった世界が見えるようになる。」
- ◆10.06 スタンドキャプテンの一言「心で体を動かせ。誰でも確実に貢献できることがある。」
- ◆10.05 未完の背番号1の一言「今野球ができることを当たり前だと思わないで一日、一日大切に過ごしてほしい。」
- ◆10.04 寡黙な男の一言「日々の積み重ねが自分の自信になると思うし、その自信が大事な場面で大切になってくる。」
- ◆10.03 最速のスピードスターの一言「失敗から色々なことを学んで欲しい。」
- ◆10.02 救世主の一言「仲間がいれば苦しい努力だって楽しい努力に変わる。」
- ◆10.01 炎のランナーコーチの一言「今までの大会と違ったことは勝つ、負ける、成功、失敗よりも蕨高校の野球をしようという気持ちが強かったことと、楽しもう(これが意外に難しい)と思ったことです。」
- ◆09.30 春のホームランキングの一言「常に夏、花咲いている自分を想像してください。」
- ◆09.29 4番の一言「甲子園はそんなに遠いところじゃないということを認識して日々の練習に励んでほしい。」
- ◆09.28 最後まで船を漕ぎきった男の一言「最後がどんな役割でも、やりきれば、どこかで自分のためになっている。」
- ◆09.27 4試合で11安打の一言「今までの大会と違ったところは、打席を楽しめたということです。」
- ◆09.26 Y杯創始者の一言「周りに自分を認めさせる力が少しでも必要になります。」
- ◆09.25 可愛い捕球姿勢の一言「今の自分がどうであり、これからどうなっていきたいのか、それを考えなが

ら常に生活していくことが大切」

- ◆09.24 今でもそっと後輩たちの練習試合を見ている男の一言「頑張ることは辛いけれど、決して恥ずかしいことではありません。」
- ◆09.23 チーム1練習をした修行僧の一言「もっと練習をしておけばよかった。」
- ◆09.22 鉄腕の一言「70人の気持ちを背負って投げることができました。」
- ◆09.21 文集《秋を終えて》より「蕨高校は、本当にたくさんの方々に支えられているし、応援されているのだと改めて思いました。」
- ◆09.20 文集《秋を終えて》より「『人』ができていないと、公式戦ではまったく力を発揮できない。」
- ◆09.19 文集《秋を終えて》より「投票用紙の『チームへの貢献内容』の欄に先生方を含めた全員がスラスラ書けるようではなくては勝てないと思う。」
- ◆09.18 文集《秋を終えて》より「甲子園をみんなイメージしてくれ。あの場で何としてもやるというイメージをしてくれ。」
- ◆09.17 文集《秋を終えて》より「経験をチーム全体で共有していくこと、考えの方向性が全員同じであること、これは蕨高校が”大人な集団”であるために必要不可欠であると思う。」
- ◆09.16 文集《秋を終えて》より「本当の勝負はこれからだ。根拠があるわけではないが、自分もこのチームもこのままでは終わらないという自信がある。」
- ◆09.15 雨の多い季節ですが、水捌けの良いグラウンドに救われています。環境に感謝。
- ◆09.14 監督の一言も8か月目に入りました。高校野球といえども、球場に足を運んでいただいた皆様に喜んでいただけるような野球でなければならない。
- ◆09.13 夏だ。夏。夏を見据えて今を生きよう。準備が整う要素は十二分にある。
- ◆09.12 共に戦おう。
- ◆09.11 負けてしまった。でも明るい兆しが見えた。
- ◆09.10 確固たる武器を磨こう。
- ◆09.09 何事も普通。当たり前。準備しているから。
- ◆09.08 相手は決まった。チャンス。
- ◆09.07 自らの準備、自らの判断、自らの行動、自らの反省。
- ◆09.06 やっぱりこれ。《みんなで船を漕ごう。》
- ◆09.05 いよいよ秋。過去の秋の反省を踏まえて準備をしてきたつもりです。
- ◆09.04 文化祭に数多くのOBがやってきて話ぐできた。思い出のアルバムのページをめくりながら、いろいろなことを考える1日となった。
- ◆09.03 自らの正しい判断。
- ◆09.02 相手は決まった。蕨高校の野球、それがすべて。
- ◆09.01 形が見えてきた。
- ◆08.31 明日からいよいよ9月。10月まで勝ち進もう。
- ◆08.30 練習試合は残り3日。大切にしよう。
- ◆08.29 初め(1)が大切。
- ◆08.28 今日は富士山を見ることができる。
- ◆08.27 運の有る無しは大きい。
- ◆08.26 しっかりしゃがまないと大きなジャンプはできない。
- ◆08.25 夏の成長を思いっきり表現しよう。

- ◆08.24 夏休みもあと2日。「さっさとやる。しかも正しく。」できただろうか。
- ◆08.23 代表者会議・個人面談をした。やってよかった。それぞれに成長を感じた。
- ◆08.22 相手と戦う自分を作り上げる。相手と戦う集団になる。
- ◆08.21 質・量ともに日本一の練習。
- ◆08.20 甲子園を見て思う。勝ってチームは成長する。
- ◆08.19 如何なる良い結果にも満足せず、如何なる悪い結果にも悲観しない。
- ◆08.18 いろいろなことを感じ取ったはず。それを生かそう。そういう大会でもある。
- ◆08.17 チーム全体に求められているのは敏感であること。
- ◆08.16 南部地区新人大会を見た。やれる必ず。それと蕨高校野球部の人としての正しさも見た。
- ◆08.15 役者よ。出てこい。
- ◆08.14 高校野球(甲子園)の神様に嫌われてはならない。
- ◆08.13 新人大会まであと5日。やるべきことはやっておこう。
- ◆08.12 相手と戦う自分を作り上げる。そして刻一刻と移り変わる今を正確に捉える力をつける。
- ◆08.11 オリンピックは面白い。トップアスリートの心とは何なんだろう。
- ◆08.10 機敏に動く力を機動力と言う。つまり機動力は守備にも当てはまる。
- ◆08.09 甲子園が教えてくれる！
- ◆08.08 手応えはある。でも今年はそれを口にはできない。
- ◆08.07 大阪は暑い。しかし甲子園はそこに存在している。
- ◆08.06 準備のしかたにも練習がある。
- ◆08.05 初戦まで2週間。市営浦和球場の第1試合が最初の舞台。みんなで船を漕いだ成果が試される時。
- ◆08.04 すべてのチームがまだまだ未熟。どれだけ伸びるかにかかっている。
- ◆08.03 昨日は新チーム初の代表者会議だった。それぞれの個性を発揮して充実した会議にしてもらいたい。チームの充実の為に。
- ◆08.02 昨日の1試合目のヒットはすべてF—ZEROだった。
- ◆08.01 今日は抽選会。そして明日は投票日。
- ◆07.31 昨日は11期の野球部OBの方々が来校されました。蕨高校野球部に対する熱い思いを感じ、身が引き締まりました。
- ◆07.30 Don't stop move.
- ◆07.29 昨日は体験入部に53人もの中学生にお越し頂きありがとうございました。身が引き締まりました。
- ◆07.28 夏が終わった。あの日から10日。このくらいで終わる。
- ◆07.27 今日で10日目。少しずつチームになりつつある。
- ◆07.26 夏も5日で4試合になった。涼しいけれどそれでも過酷。
- ◆07.25 素振り。
- ◆07.24 リーダーシップよりフォロワーシップ。
- ◆07.23 心の一要素として闘争心はある。相手と戦うのだから。
- ◆07.22 練習試合の質。
- ◆07.21 人には等しく24時間が与えられている。
- ◆07.20 夏の悔しさを今日の試合に持ち込め！！敗因は正しく前進する中で見えてくるはず。
- ◆07.19 自分たちのやり方を信じ、そして極める。
- ◆07.18 出発。次の目標に。WARABI REVOLUTION 一目に見えない世界の充実—



- ◆07.17 ゲームスローガンは《矜持》。胸を張って、堂々と、怯むことなく蕨高校の野球を表現しよう。
- ◆07.16 road to K。決勝まで10日。ここから1日おきの試合になる。連戦は経験済み。この瞬間の為に嫌と言うほど試合はやってきた。練習よりも試合のほうが厳しいことも体験している。  
練習試合よりも公式戦の方が過酷なこともわかっている。港まであと少し。みんなで船を漕ぎ続けよう。
- ◆07.15 矜持。
- ◆07.14 まだ、甲子園に相応しいチームではない。ただ、公式戦の経験が一番人を成長させる。次は更に成長した人を表現できるように3日間を過ごそう。高校生には無限の可能性がある。必ず甲子園に相応しいチームになる。そういう努力をしてきた。独自の発想とやり方で。
- ◆07.13 監督の一言も6ヶ月目に入りました。やっぱり今日も人が問われている。あの7. 13以来自分という人と真摯に向き合い努力してきた。今日はその成長した人を思いっきり球場で表現しよう。ゲームスローガンは《湧き立つ力》。信じている。カブトムシも見ている。
- ◆07.12 昨日は二人の来校者があった。一人は蕨高校走塁の体現者の父。3年間関西弁のだみ声で温かく応援してくれた。一人は最後の夏、1球も投げることができずに終わった投手。二人とも蕨高校野球部を愛している。高校野球には神様がいる。あの7. 13に、あの川口市営で、あの雨の中試合をさせてくれる。ありがたい。高校野球の神様に感謝。
- ◆07.11 相手が決まった。良かった。何故なら野球は相手と戦う競技だから。
- ◆07.10 蕨高校の夏が始まった。高校野球ダイジェストのMCは放送委員会のOB。開幕ゲームの1塁審判は野球部のOB。
- ◆07.09 昨日は二人のレジェンドがやってきた。一人は元祖鉄腕。一人は元祖修行僧。二人とも大人になった。そして蕨高校の野球部を愛している。
- ◆07.08 カーボローディングの期間です。炭水化物の積極的な摂取を。ウォーターローディングも忘れずに。
- ◆07.07 信じるべきは自分という人。それと自分がやってきたこと。
- ◆07.06 road to K。初戦まで1週間。決勝まで20日。歴史を創る大会。楽しみです。
- ◆07.05 いよいよ明日が最後の練習試合。試合でしか上手くならないことがある。そしてそれはとても重要なこと。
- ◆07.04 OBの方々も一緒に船を漕いで頂いていることを再認識致しました。心が体を動かす。
- ◆07.03 road to K。初戦まで10日。甲子園に相応しいチームになる夏が近づいている。《じもテレ高校野球蕨高校》をご覧ください。
- ◆07.02 体調の管理には細心の注意を。
- ◆07.01 自分たちの野球ができればどんなチームにも勝てると確信している。
- ◆06.30 全国の野球部員が夏の大会と期末考査に向き合っている。
- ◆06.29 卒業生が、就職内定の報告にやってきた。歴史を感じた。
- ◆06.28 やっぱり人が問われている。
- ◆06.27 心一つに。
- ◆06.26 road to K。決勝戦まで30日。この夏をどういう夏にするかを考え、《何をどうやって来たか。》の戦い。正しい継続は必ず力になる。この1年間生かされてきたわけではない。主体的に自らの意志で生きてきたのだから。
- ◆06.25 予選の予定が決まった。2週間で7試合。試合には慣れている。
- ◆06.24 今日は夏の抽選会。楽しみです。
- ◆06.23 H(小学生の頃から蕨高校の野球を間近で見っていた)H(鉄腕の系譜を継承した)K(自分の生き様を後輩に見せる決意をした)K(あの一発)N(他人の嫌がることを厭うことなく行った)S(男子マネージャーとしての

歴史を創った)T(寡黙な努力は蕨高校の伝統)T(WCの大車輪の活躍)T(目に見えない世界の投球)Y(チーム1のスピードスター)。人の心が体を動かす素敵な試合だった。みんな頑張った。

- ◆06.22 心身共に最高の状態で大会に臨むための準備。準備の蕨高校ならそれはできる。
- ◆06.21 今日は《みんなで船を漕ぐ日》。感じ取ろう。みんなの思いと役割を。
- ◆06.20 判断しそれを信じ切ること。
- ◆06.19 road to K。開会式まで20日。
- ◆06.18 高低のストライクゾーンは絶対的。
- ◆06.17 緩まなければ力が出ない。緩みのイメージは華輪。何時でも何処でもできる。
- ◆06.16 今この時期だからこそ野球を楽しむことも必要。
- ◆06.15 蕨高校野球部の宝は人。人の充実、人の成長に掛かっている。
- ◆06.14 今自分にできること、すべきことを精一杯やるだけ。自分にはどうすることもできないことは考えてもしかたがない。
- ◆06.13 監督の一言も5ヶ月目に入りました。言いたいことは言っているつもりです。
- ◆06.12 ハードルは高ければ高いほどそれを乗り越えたときの成長は大きい。この夏、甲子園に相応しいチームになるためには幾つも待ち受けている高いハードルを乗り越えていかなければならない。
- ◆06.11 いよいよ梅雨本番。体調管理をしっかり。晴れた日の練習の重要性。
- ◆06.10 これから更に高いレベルで人が問われる。私たち指導者を含む野球部全体に。
- ◆06.09 road to K。開会式まで30日。
- ◆06.08 一日、一日、一瞬、一瞬が重い。
- ◆06.07 今日は投票日。責任が伴う。
- ◆06.06 フェイクのタイミングの工夫。
- ◆06.05 仲間の2年3ヶ月の努力を背負って戦うのが夏。背負う努力は重ければ重いほど良い。
- ◆06.04 今日からの新潟遠征でチーム全体が大きく成長する予感がする。
- ◆06.03 チャンスボール30個増やしました。
- ◆06.02 高校野球ドットコム【僕らの熱い夏】に蕨高校野球部が出ています。
- ◆06.01 如何なる劣勢でも平然と自分たちの力を出し切るチームになりたい。
- ◆05.31 勝ちパターンがあるということは、負けパターンがあるということ。公式戦は如何なる試合展開でも勝たなければならない。練習試合はその為の練習でもある。
- ◆05.30 road to K。開会式まで40日。
- ◆05.29 みんなで船を漕ぐとは、いったいどういうことなんだろう。
- ◆05.28 何事にも怯むな。
- ◆05.27 優秀な走者の条件。①鋭い観察力②的確な状況判断③行動に移す決断力④足の速さ。
- ◆05.26 連動は心地よくもあり、破壊力もある。目に見えない世界の充実なくして連動なし。
- ◆05.25 戦う集団になりつつある。夏の舞台に相応しい自分(自分たち)を作り上げよう。
- ◆05.24 投票日まであと2週間。投票権には責任が伴う。
- ◆05.23 ここからの体重増は大切。
- ◆05.22 前進あるのみ。
- ◆05.21 ウォーターローディングの季節がやってきました。
- ◆05.20 road to K。開会式まで50日。
- ◆05.19 休み方の質はどうであろうか。明日から練習再開。部内順位も楽しみ。

- ◆05.18 甲子園はそんなに遠いところではない。大切なのは人だから。
- ◆05.17 6月4日の練習試合は北越高校が北信越大会出場のため、日本文理高校と行うことになりました。
- ◆05.16 全国のどこにもまだ甲子園に相応しいチームは存在しない。これからです。
- ◆05.15 ハードワークです。
- ◆05.14 長所を伸ばしても良い。短所と向き合っても良い。自分の判断で。
- ◆05.13 公認野球規則1. 02(昨年までは5. 04) 攻撃側は、まず打者が走者となり、走者となれば進塁して得点することに努める。
- ◆05.12 下半身の力を指先に伝える。
- ◆05.11 練習の休み方にも質がある。しっかり休めば問題は無いし逆に成長に繋がることもよくある。
- ◆05.10 再確認。公認野球規則1. 05(昨年までは1. 02) 各チームは、相手チームより多くの得点を記録して、勝つことを目的とする。
- ◆05.09 負けに不思議の負けなし。勝ちにも不思議の勝ちなし。
- ◆05.08 昨日は大切な一日だった。1年7ヶ月前の悔しさを忘れていないから。
- ◆05.07 我々は歴史の上に存在している。
- ◆05.06 どちらでも捕れるボールは上手い方が捕る。
- ◆05.05 意図的なプレーには2種類ある。相手にわかるような意図的なプレーと相手にわからないような意図的なプレー。使い分けが重要。
- ◆05.04 ズームとワイドの使い分け。
- ◆05.03 プラスの局面であろうがマイナスの局面であろうが、練習試合の全ての局面は公式戦に繋がる。
- ◆05.02 主な実績、春季県大会の写真を見てください。
- ◆05.01 今日は選抜をイメージする日。関東大会まで6ヶ月。
- ◆04.30 格好をつけない。真面目に誠実に元気良く。
- ◆04.29 2度と後悔しなくて済むよう正しい反省をしよう。
- ◆04.28 努力にはタイミングがある。
- ◆04.27 1円玉を集めるように努力しよう。1万円札は集められない。
- ◆04.26 高校野球は高校生活においては余計にやっていることで、やらなければならないことではない。だからこそ真剣に取り組むべき事である。
- ◆04.25 人が問われている。
- ◆04.24 今日もスイッチは ON
- ◆04.23 7・13の敗戦を絶対に忘れない。
- ◆04.22 指導者目線の選手が数多く出てくるチームは強い。
- ◆04.21 結局大切なのは人。人が野球をしているのだから。
- ◆04.20 子供の頃に楽しく野球をしていた時の気持ちを忘れない。
- ◆04.19 打つ＝振る×当てる
- ◆04.18 正確な判断を瞬時に。
- ◆04.17 公式戦の経験がチームを大きく成長させる。まだまだ甲子園に相応しいチームではない。
- ◆04.16 全ての試合は0対0から始まる。
- ◆04.15 後悔するくらいなら準備をしよう。
- ◆04.14 チームの全ての経験を全員で共有しよう。
- ◆04.13 我々の湧き立つ力はこんなものではない。

- ◆04.12 良く変わることを成長という。
- ◆04.11 スイッチはON。
- ◆04.10 自分でやる。自分からやる。
- ◆04.09 目標からの逆算。高い目標を見上げて途方に暮れるより、目標を達成した自分をイメージして、そこから逆算して今何をすべきかを考えて行動する方が楽ではないか？
- ◆04.08 中学校ユニフォームDAYは「初心忘るべからず」の日。ウインターカップユニフォームDAYは「冬を思い出す」の日。
- ◆04.07 打球を処理しない試合はあっても、打席に3回立たない試合はない。
- ◆04.06 時間というトルネードを巻き起こせ。
- ◆04.05 打球が飛んで来ないことが確定したら、次にボールが来そうな所へ移動する。それをカバーリングと言う。
- ◆04.04 そこに守っているのは、打球が飛んできそうだから。それをポジショニングと言う。
- ◆04.03 短所はあまり気にするな。個々の長所を集結させて戦おう。
- ◆04.02 その失敗した場面が次にやってくるのは本番。良かったね、練習(試合)で失敗しておいて。
- ◆04.01 開校60周年の節目の年に、新しい歴史の扉を開こう。